

「パーパス」で進化する企業文化

～変革による成功への道～

SDGs、人的資本、ダイバーシティ経営などとともに、最近、「パーパス（PURPOSE）」が新たなブームとなっています。「パーパス」を新たに制定し公開している企業は、この2年で驚くほど急激に増えています。この「パーパス」とは一体何なのでしょう？ 企業はなぜ、またどのように制定しているのでしょうか。パーパスの実際を知るとともに、そのパーパス制定を活用した企業変革について考えていきたいと思えます。

日時

令和5年**10月27**日（金）14:00 – 15:30

会場

Zoomを利用したオンライン配信

対象

ものづくりに携わる企業の経営者、
製品・事業開発の担当者の方など

参加費
無料

【パーパス（PURPOSE）とは】

日本語で「存在意義」と訳され、企業の社会的な存在価値を意味する言葉として用いられています。欧米でのパーパスブームを受けて、日本でも経営理念として新たに「パーパス」を制定する企業が急激に増加しています。この「パーパス」を掲げる企業が、効率的に利益を上げるなどの研究報告があります。

セミナー、質疑応答（14：00～15：30）



「パーパス」ってなんだ？ ブームの現状・その理由と活用方法

講師:野林 晴彦 氏
(金沢星稜大学 経済学部 教授)

最近、「パーパス（PURPOSE）」という言葉をよく目にしませんか。ビジネス雑誌では多くの特集記事が掲載され、「パーパス」とタイトルのついた書籍が多く出版されています。またソニーなどをはじめ、「パーパス」を制定し、公開している企業が続々と出現しています。まさに今、パーパスブームです。

どの程度の数の企業が、どのような理由から、またどのように「パーパス」を制定しているのでしょうか？実際の企業の事例も含め、どのように活用していけばよいかを一緒に考えてみましょう。

講師プロフィール

野林 晴彦 (のばやし はるひこ) 氏

金沢星稜大学 経済学部・経営戦略研究科教授

慶應義塾大学大学院修了 (MBA)、滋賀大学大学院修了 (博士、経営学)

エーザイ株式会社で26年勤務(営業、マーケティング、人材開発・理念浸透、事業推進など)の後、九州国際大学経済学部、北陸学院大学短期大学部勤務を経て2022年より現職。

大学では「経営戦略論」等を担当する一方、一貫して「経営理念」に関する研究に取り組んでいる。

「マーケティングセミナー」参加申込書

企業名			
所在地	〒		
TEL			
参加者	役職	氏名	E-mail

※お申込みいただいた方には、今後、金沢市からセミナー等のご案内を差し上げる場合がございます。

- 申込方法 : ①「金沢市電子申請サービス」を利用したオンライン申請
②E-mail または FAX(076-240-1903)による申請
のいずれかによりお申込みください。
- 申込先 : 金沢市産学連携事業運営委員会事務局
金沢市異業種研修会館 担当 中上
TEL:076-240-1934
FAX:076-240-1903
E-mail:igyousyu@city.kanazawa.lg.jp
- 申込締切 : 令和5年10月20日 (金)

申込方法等の詳細は、Webサイト
「金沢市産学連携
ネットワーク」
をご覧ください。



金沢市産学連携ネットワーク 検索